

「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」 第21回公開講演会報告

(公社)日本磁気学会 総務委員会

去る2015年9月12日(土)に、名古屋大学東山キャンパスにおいて、日本磁気学会第21回公開講演会「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」を日立金属(株)、(株)高純度化学研究所および日本学術振興会のご後援、ご協力を頂き開催しました。今回は大学周辺にお住いの小学生向けに参加者を募集し、小学生35名とその父兄を合わせて約60名の方にご参加いただきました。

講演会当日は高野総務理事の開会の挨拶にはじまり、講師としてお招きした千葉大学の太田奈緒香博士(現東京大学)により「探してみよう！身の回りにある磁石」というタイトルで、磁石の基本的な性質と身近にある磁石について、丁寧な説明や実験を交えて、磁石の面白さ、不思議さについて約30分の講演をしていただきました。子供たちは退屈せず最後まで熱心に聴いていただけましたようです。講演後の質問コーナーでは「磁石はなぜくっつくのですか？」という、講師・総務委員共々も思わずたじろぐ厳しい質問も飛び出しました。このような磁性の根源的な質問をどうやったら分かり易く伝えることができるか、私共の今後の課題です。良いアイデアをお持ちの方は是非ご一報ください。

講演終了後に、子供たちに数班に分かれてもらい、「動く液体？磁気スライムを作ろう！」、「磁石の不思議な模様とは・・・」、「ハードディスクを分解しちゃった!?!」、「すごい磁石の大集合！」、「磁石で音を鳴らしてみよう！」、「不思議体験、マグネットパワー!?!」の計6コーナーを体験してもらいました。会場いっぱいの子供たちが興味津々の表情で体験コーナーをめぐっていたことや、積極的にコーナーの先生方に質問をする姿が大変印象的でした。また、日立金属よりお借りした磁気浮上椅子も大人気でした。今回は展示担当の総務委員の多くが交代した直後ということもあり、多少の混乱が心配されましたが、大きなトラブルもなく無事に運営ができたと思います。閉講式では、講演や体験を通して磁石の不思議さに気付き磁石に詳しくなったということで、宮本総務理事より「じしゃく博士」認定証を一人ずつ子供たちに贈呈しました。最後に宮本理事からの閉会の挨拶を以って講演会の終了となりました。今回参加いただいた方々にアンケートを記入していただいた結果、やはり今回も子供たちは体験コーナーのスライム作りが人気だったようです。また、今後もこのような講演会に参加したいと答えた児童および父兄も多く、講演を開催したスタッフにとって大変嬉しい結果となりました。

磁気学会を取り巻く状況が厳しさを増す昨今ではありますが、今回の公開講演会での子供達の様子を見て非常に元気づけられる思いがしました。このように盛況のうちに閉会することができたことは、我々運営側としての大きな喜びです。公開講演会開

催に御協力・御尽力いただきました、名古屋大学岩田先生、加藤先生、アルバイトの学生さんおよび学会事務局スタッフに心より感謝いたします。紙面を借りて改めてお礼申し上げます。次回は、2016年3月下旬に埼玉大学での開催を予定しています。新たにリニア中央新幹線の模型も登場し、体験コーナーの充実を図ります。開催2か月前頃に学会ホームページに開催案内を掲載しますので、会員の皆様のお子様等お誘いいただき、ぜひ積極的なご参加をお願いします。

(総務幹事:齋藤秀和)